事例No.	2419
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	五島市地域づくり事業協同組合

事例区分	地域活性化

タグ	・移住定住 ・人材確保・育成 ・地域運営組織

事例種類	人材確保・育成

事例内容・タイトル

五島市地域づくり事業協同組合
島での仕事は、島で生きること。正職員として、五島の様々な企業で
「マルチワーカー」として働くという新しい働き方。

出典

特定地域づくり事業協同組合事例集

事　例

五島市地域づくり事業協同組合

島での仕事は、島で生きること。正職員として、五島の様々な企業で「マルチワーカー」として働くという新しい働き方。

長崎県
五島市

活用のきっかけ・期待すること

▶市内事業所において人材不足が顕著となり、人材確保施策の必要性が高まる中、福江商工会議所、市内企業（㈲イー・ウインド）、市が各々の役割による設立に向けた連携により、長崎県内第1号の地域づくり事業協同組合として2021年4月にスタート。

▶人手が欲しい市内企業と、正職員として働きたい移住者等を繋ぐ役割を担いながら、職員へは自分に合った仕事を見つけ、市内事業所への就職、定着につながることを期待している。

取組内容

▶移住相談会、組合HPなどで職員募集し、採用された職員は正職員として地域の事業者へ派遣

市内にある農業、建設業、介護から観光、再エネ関連企業など、27事業者の仕事を組合せ、年間通じた安定した仕事を創出。
これまで組合で雇用した17名（うちＵターン2名、Ｉターン11名、退職者を含む。）は全て正職員として雇用し、各事業者へ派遣。移住担当部署とも連携し、若者の定着、移住を促進し、人手不足や雇用のミスマッチ解消を目指している。

地域の活性化

▶地域づくり事業協同組合の地域プラットフォーム化

五島市地域づくり事業協同組合が、移住希望者、Ｕターン希望者、地元高校新卒者、市内事業者、及び市役所の地域雇用の調整役、移住定住の相談役として、地域課題である移住促進、若者定着、雇用ミスマッチ解消、寺内不足解消などに繋げ、官民一体となり地域活性化を促進し、新しい地域の形を目指している。

派遣のイメージ

▶インターンシップ型

1～2カ月ごとに色々な仕事を体験し、1年後をめどに組合企業への就職を目指す働き方

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A社	B社		C社	D社	E社		F社	G社	H社		I社

▶マルチワーク型

季節ごとに繁忙期が異なる農作業、加工業等の業務を組み合わせて、派遣職員として組合員企業をサポートしていく働き方

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
農産物　加工・発送			つばき関連商品製造			水産物　加工・発送			申告業務　事務補助		

組合に関わる皆さんの声

▶組合員(農業生産法人代表)

足りないポイント（時期）に人を派遣してくれるのは、非常に良いと思う。農業は、天気や季節によって労働日数に差が出るが、当社は加工もあるので基本的には閑散期がなく、常時、人を雇用している。ただ閑散期はないとはいえ、苗植えと収穫のピークはある。ピークに合わせて人を雇うのは企業としては難しいので、この一番大事な仕事の時期に人を派遣してくれるのはありがたい。

キャリアアップ研修風内容
2023年7月31日長崎新聞掲載


地域総合

「五島のうまかもん」どうぞ

高浜海水浴場 海の家

カフェバー、地域づくり協同組合連携

